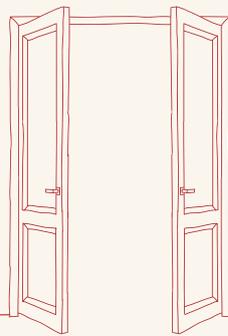


# 私のネクストステージ

—退職者への質問状—

Vol.33



## 定年を機に 人生をリセットして始めた マンション管理員



元会社員  
**藤森 勝さん (64歳)**  
2015年定年退職

【ふじもり・まさる】1954年、千葉県市川市出身。1977年、クレーン重機リース会社に入社。総務畑一筋で定年までの38年間で勤め上げた。定年直前には105kgあった体重を毎年10kgずつ減量した。

再就職祝いにと奥様からプレゼントされた丸型フレームのメガネが優しい雰囲気を醸し出している

—藤森さんは2015年8月からマンション管理員として働かれているそうですが、以前はどんな仕事をされていたのですか。

クレーン重機のリースをメインに運送業や不動産業も手掛ける会社に勤めていました。22歳で就職してから38年間、総務畑一筋です。入社以来、総務部総務課で社員の面接から教育まで携わっていたので、約300名いる社員全員の顔と名前が一致しましたね。

—でしたら、定年後も再雇用で働かれたほうが、ラクだったんじゃないでしょうか。

実は還暦を迎えた年に、変形性股関節症で手術を受けてまして。その時「定年を機に人生を一度リセットしてみたい」と思ったことが、退職を決めるきっかけとなりました。「人生を1日に例えるなら、60歳以降は「午後」にあたる。だったら、60歳以降はこれまでと全く違った人生を歩んでみてもいいかな」とも手術をしていなければ、再雇用で働き続けていたかもしれませんね。

—マンション管理員という仕事を選ばれたのは、なぜですか。

有名企業の社長まで務めた親戚が定年後にマンション管理員になったという話を聞き「将来やってみてもいいか」という思いが頭の片隅にありました。それに「デスクワークはもうしたくない。体を動かす仕事がしたい」という思いもありましたし、自宅のマンションで管理組合の理事長を務めた経験上、「それほどストレスなくできそう」という印象を

持っていたことが、マンション管理員を選んだ理由です。

—仕事はどのようにして見つけられましたか。

退職後、手続きのためハローワークへ行き60歳以上向けの求人ファイルを手に取ったところ、一番上にあつた求人票が偶然にもマンション管理員でした。勤務時間と勤務内容を見て「これはいい!」と思い、すぐに紹介してもらいました。履歴書を郵送し面接を受けると、その場で採用が決まりました。

—シニアの再就職は時間がかかると聞きますが、最初に見た求人票で希望の仕事に就けたとは、ラッキーですね。

ハローワークの失業保険受給説明会に行く前に、再就職が決まったくらいですからね。失業手当が出なかつた分は、再就職手当として受給しました。

—その後、どうされたのですか。

私の勤務場所は千葉県内にあるライオンズマンションで、その管理を委託されているのが大京グループのマンション管理会社、大京アステージです。

私は嘱託社員としてマンション管理員になるにあたり、東京研修所で4日間、千葉支店で2日間、それに実地研修を2日間受けました。研修では個人情報保護法など法律の知識に始まり、駐車場の車庫証明発行や入退去者への対処の仕方といった事務作業に加え、給水ポンプなどマンション設備の操作、清掃方法など技術的なこともすべて教えてもら

月2回火曜日午後に受講しているカルチャーセンターのスポーツ吹矢のお仲間の皆さんと



「以前は趣味らしい趣味もなかった」という藤森さんだが、現在はスポーツ吹矢に夢中

驚くほど無臭のゴミ置き場。ゴミ収集の翌日には洗剤とブラシで念入りに清掃しているという藤森さんの努力の成果



仕事では「自分なりの工夫をするのが得意」という藤森さん。管理するマンションで高齢の方が多いという状況を知り、上級救命講習も受講

らいました。それに以前の職場でも会社所有の不動産管理に携わっていて、防火管理者や衛生管理者の資格を持っていましたので、仕事に対する不安は全くなかったです。

——実際に働かれるようになって、想像と違った部分はありませんか。

思いのほか忙しいことくらいですかね。管理員室ですと座っているイメージと違って、かなり動き回っています。朝8時半に出勤したらまず建物の清掃に取り掛かり、巡回を終えるのが11時半です。77戸のマンションで、管理組合と管理会社の委託契約書には業務内容が記載されていますし、私自身もマンションの「きれい」を維持したいとの思いから、業務遂行のための計画を立て、漏れがないかチェックしながら仕事をしています。

——仕事が嫌になることはありませんか。

家庭では風呂掃除すらしたことありませんでしたが、仕事となれば清掃も全く苦になりません。マンション内の巡回の時は腹筋に力を入れながら階段を昇り降りしていますし、トレーニングだと思ってやっています。

——やりがいを感じるのとはどんな時ですか。

居住者の方に喜んでいただけた時ですね。「いつもきれいにしてください、ありがとうございます」とか、駐車場の車庫証明を急いで発行してあげて感謝されたりとかした時は、やりがいを感じます。

——仕事はいつまで続けられる予定ですか。

70歳くらいまでは続けようと思っています。

仕事に行くとなれば気持ちが悪くありませんし、毎日同じ時刻に目覚めるので生活のリズムも維持できます。それにいくつになっても社会とつながっていることは大事だと思っています。

——最後に、現役世代の方へのメッセージをお願いします。

私の現役時代は仕事オンリーで、休日も出勤するような生活でした。今になって思うのは20代、30代、40代とそれぞれの年代で家族との時間を大事にしたり、プライベートでやりたいことをもってやってあげればよかったということです。

現役時代は有給休暇もほとんど使ったことがありませんでしたが、その反省もあって、今は有給休暇も毎月のように取りますし仕事は定時で終わります。月曜から土曜までの週6日勤務で、うち火曜・木曜・土曜は午前中だけの半日勤務なので、この半日を有効活用し、いろんな趣味を楽しんでいます。

マンション管理員になって始めたスポーツ吹矢は、地元公民館のサークルとカルチャーセンターの2カ所でやっていて、先日、四段を取得しました。カルチャーセンターで手話も習いましたし、来月からはステップを踏みながら歌う青春ポップスも始める予定です。現役時代は趣味らしい趣味もありませんでしたが、「60歳を過ぎたら楽しまないと」と思って、いろいろなことに挑戦しています。

——まさに定年を機にすべてを一変されたんですね。今後益々のご活躍をお祈りします。